



## 茨城県龍ケ崎市 令和8年1月 定例記者会見資料【事業報告】

### —ゲーム感覚で中学2年生が学ぶ！“自分の未来と将来の暮らし”を描く演習型キャリア教育— 「たつのこライフデザイン」形成支援事業を実施(2/13)

龍ケ崎市では、市立中根台中学校(校長:松谷真一、生徒数:280人)で中学校の2年生を対象に、将来の暮らしや働き方について考える演習型キャリア教育「たつのこライフデザイン」形成支援事業を令和8年2月13日(金)に実施します。

本事業は、人生における多様な選択肢を見通しながら、「自分の将来を主体的に描ける力」を育むことを目的とした取り組みです。来年度の本格実施に向けたプレ事業として実施するものです。

講師に大成裕道氏(合同会社フラタニティ代表取締役、ライフプランナー)らを迎え、2部構成で授業を進めます。前半の授業では、就職、結婚、出産などのライフイベントが記されたカードを順に引きながら、将来の暮らしについてゲーム感覚で学びます。後半の授業では、専用のワークシートやシールを用いて、「人生の設計図(ライフプラン)」を作成します。生徒は、カードによって変化するライフスタイルへの対応を考えたり、年代ごとに変化する将来の暮らし方や働き方を整理したりすることで、自身の将来像を可視化します。

加えて、講師が龍ケ崎市の補助金や助成制度、子育て支援施策についても触れ、本市で現在行っている支援策を知りながら、将来の暮らしをより具体的にイメージできるよう工夫しています。

その後、グループワークを通じて客観的な視点を取り入れることにより、「自分らしい生き方」を具体的に描いていく内容となっています。

報道機関の皆さまにおかれましては、当日の取材を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

#### 【本事業実施の経緯】

本事業は、令和5年度に実施した「少子化対策ワーキング」における提案を出発点とし、翌令和6年度に実施した「WOMANトークワーキング」で議論を重ね、内容の充実を図った上で事業化したものです。

人口減少や少子化が進行する中、若い世代が将来の暮らしや働き方を具体的に考える機会を持つことが重要であるとの認識のもと、キャリア教育とライフデザインの視点を取り入れた取り組みとして実施します。

■場 所	龍ケ崎市立中根台中学校 校舎2階 第2学年各教室 (龍ケ崎市中根台1丁目12番地)
■日 時	令和8年2月13日(金) 3・4時間目 午前10時40分～午後0時30分
■参加生徒	第2学年 90人(3クラス)
■内 容	・前半(1コマ目)「ミライフカード®」を使った演習型授業 ・後半(2コマ目)「人生の設計図(ライフプラン)」の作成
■取材対応	取材対応可能なクラスは、当日現場にてご案内します
その他	委託先:株式会社 JTB 茨城南支店 令和8年2月10日(火)に長山中学校でも同様の内容で実施予定です

#### 担当課

龍ケ崎市 総合政策部 まちの魅力創造課 人口問題対策室  
担当者:脇島・岡野(わきしま・おかの)  
連絡先:0297-64-2751